

府中市

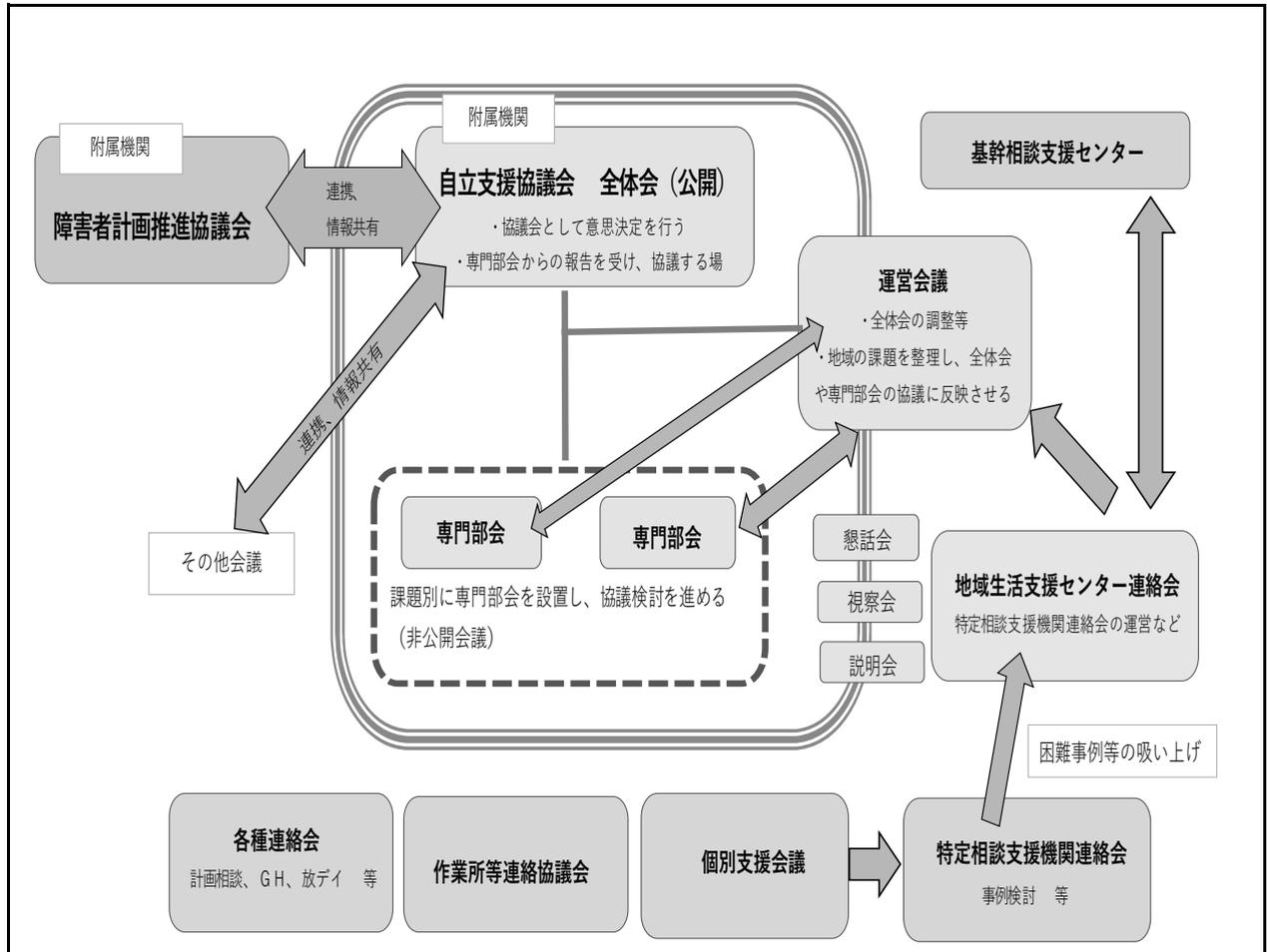
【名称】府中市障害者等地域自立支援協議会

【ホームページURL】 <https://www.city.fuchu.tokyo.jp/gvosei/kekaku/kvogikai/kenko/jiritusien/index.html>

【設置年月】平成20年1月

【運営方法】直営

【組織図】



府中市

【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
1	4	7	5	19	11

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
① 整備済	令和3年3月	② 面的整備型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
③ なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

専門部会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
3	18 (2)

部会名	回数	委員数
相談・くらしの部会	6	10 (2)
子ども部会	6	8 (0)

※「委員数」の()：障害当事者(本人)で委員に就任されている方の人数(再掲)

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	1	保健所	1
教育関係機関	1	雇用関係機関	1	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	4	身体・知的障害者相談員	1	相談支援事業者	4
障害福祉サービス等事業者	3	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	0	地域住民	0	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		

合計	18
----	----

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	山口 真佐子	桜美林大学	学識経験者	
2	部会長	桑田 利重	地域生活支援センターみ～な	相談支援事業者	
3	副会長	鈴木 卓郎	地域生活支援センタープラザ	相談支援事業者	
4		高橋 美佳	地域生活支援センターあけぼの	相談支援事業者	
5	部会長	原 郷史	地域生活支援センターふらっと	相談支援事業者	
6		麻生 千恵美	児童デイサービスめろでい	障害福祉サービス等事業者	
7		玉上 博康	ワークショップさかえ	障害福祉サービス等事業者	
8	副部会長	松林 宏	JPS訪問介護ステーション	障害福祉サービス等事業者	
9		椛島 剛之	障害当事者	障害当事者・家族・関係団体	
10		田村 智久	障害当事者	障害当事者・家族・関係団体	
11		高橋 史	府中市肢体不自由児者父母の会	障害当事者・家族・関係団体	
12		西浦 智恵	知的障害者相談員	身体・知的障害者相談員	
13		荒畑 正子	府中市精神障害者を守る家族会	障害当事者・家族・関係団体	
14		田中 研二	府中市社会福祉協議会	社会福祉協議会	
15		清水 孝子	東京都立府中療育センター	医療関係者	
16		鈴木 仁子	府中公共職業安定所	雇用関係機関	
17	副部会長	松田 豊	東京都立府中けやきの森学園	教育関係機関	
18		橋本 雅美	多摩府中保健所	保健所	

(2) 活動内容

各専門部会からの報告をもとに、全体会で協議・検討をした。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別 \ 部会名	相談・くらしの部会	子ども部会
学識経験者	0	1
医療関係者	0	1
保健所	0	1
教育関係機関	0	1
雇用関係機関	0	1
企業	0	0
障害当事者・家族・関係団体	3	1
身体・知的障害者相談員	1	0
相談支援事業者	3	1
障害福祉サービス等事業者	2	1
社会福祉協議会	1	0
法曹関係者	0	0
民生委員・児童委員	0	0
地域住民	0	0
行政職員(区市町村)	0	0
行政職員(都)	0	0
その他	0	0
計	10	8

(2) 活動内容

部会名	活動内容
相談・くらしの部会	障害のある方のための防災ハンドブックの作成 地域生活支援拠点等の整備の進行状況と実際の運用状況の把握・検証 地域課題の抽出
子ども部会	障害のある児童及びその家族等が、ライフステージが変化しても切れ目のない支援を受けられるよう、支援ツール（ちゅうファイル）の内容の見直しや今後の活用方法等について検討した。

【地域協議会の活動状況】

1 地域協議会の協議事項（複数回答）

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること

運営会議にて、相談支援専門員が行う個別支援会議や特定相談支援（障害児相談支援）機関連絡会で行う事例検討等から地域課題を抽出した。

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

支援ツール（ちゅうファイル）の更なる活用に向け、関係機関との連携について検討した。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

地域生活支援拠点等の現状・今後の見込みに関して未検討のままとされている課題について何が障害となっているのか協議検討した。

⑭ その他（障害のある方のための防災ハンドブックに関すること）

障害の種別・居住地域・支援者の有無等の実情に応じてカスタマイズできる防災ハンドブックについて検討した。

2 地域協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

各委員や関係機関で抱える課題等について意見交換や情報共有を行った。

⑤ 地域課題の整理

相談支援専門員が行う個別支援会議や特定相談支援（障害児相談支援）機関連絡会で行う事例検討等を通じて、運営会議に地域課題が集約する体制を構築した。

⑥ 課題解決に向けての検討

各課題について、市民への支援の充実を目指し、方策を検討した。

3-1 地域協議会における地域課題

① あがっている

3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

④ 高齢福祉分野との連携

地域課題を抽出する中で、本人を取り巻く家族等への支援の重要性が確認され、高齢福祉分野との連携の必要性を感じているが、具体的な取り組みについての検討に至っていない。

3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

本市だけが抱える課題ではないと認識しているため。

4 地域協議会における当事者の参画状況

（当事者の委員がいる区市町村）

4-1 (1) 当事者委員が、どのような経緯で委員に選任されたか、又は、どのような所属、背景、経歴等の方が

当事者団体からの推薦
相談支援事業所でピアカウンセリングに従事している。

(2) 多様な当事者の委員（障害や難病の種類、性別、年齢等）に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

当事者の委員に対して、会議中に資料閲覧を手伝う等の合理的配慮の提供は行っている。現在当事者は身体障害者（肢体不自由）2名のみであるため偏りは感じている。

（地域協議会を設置している区市町村）

4-2 当事者の委員だけでなく、地域で生活する多様な当事者（障害や難病の種類、性別、年齢等）の声を吸い上げられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

市内の関係機関やサービス事業所、福祉関連団体等を招いた懇話会を実施することで、委員だけでなく当事者の声を広く聞く機会を設けている。